

# **X-REB230** **MOTARD**



Hondaは、市街地で軽快な走りを楽しむことができる、スタイリッシュなスーパーモタードイメージデザインのスポーツモデルを、50ccから400ccまでラインアップしてまいりました。今回、軽二輪クラスのエントリー層をはじめとする幅広いスポーツファンに向けた、軽量・コンパクトなモタードモデルを目指し開発に取り組みました。

日常の使い勝手に優れるコンパクトな車体サイズで自由度の高いライディングポジション、低・中回転域を多用する市街地で力強い出力特性と環境性能に優れたエンジン、モタードモデルならではの軽快な走行フィーリングとスタイリッシュなデザインなどを開発の指針に掲げました。開発チームは、デュアルパーパスマシンとして幅広い層に支持されているXR230をベース車に選定いたしました。モタードモデルとして最適なディメンションの決定や、軽快な走行フィーリングを実現するために、これまで培った開発のノウハウを基に、徹底した走行テストを繰り返してまいりました。

XR230 モタードの発売によって、軽二輪クラスの活性化と、幅広いモーターサイクルファンに二輪車の楽しさを提供してまいりたいと考えております。



XR230 モタードの開発にあたっては、「Motard Feelの街中最適モーターサイクル」と「ファッションブルに見られるItem」をキーワードに設定いたしました。デュアルパーパスモデルの「XR230」をベースに、

- ① 日常における優れた使い勝手
- ② オンロードスポーツのエントリーモデル
- ③ 所有する喜び

を具現化するとともに、スーパーモタードイメージのスタイリッシュなデザインを実現いたしました。

足回りは、市街地で軽快に走りを楽しめるXR230 モタード専用の仕様としています。17インチのオンロードタイヤの採用や、リアクッションユニットに専用のセッティングを施すなどで、最適な車体ディメンションを実現しています。コンパクトな車体は、足着き性に優れた800mmのシート高を実現し、優れた取り回しと安心感を高めています。

エンジンは、XR230と同様に、キャブレターのセッティング変更によって、より適正な混合気の供給を可能にするとともに、排気ガスを浄化する触媒装置（キャタライザー）をエキゾーストパイプとマフラーにそれぞれ内蔵することで、平成18年国内二輪車排出ガス規制に適合させています。排出ガスのクリーン化に加え、燃費は46.0km/ℓ（60km/h定地走行テスト値）を達成。また、より低・中速域を重視した出力特性とすることで、市街地からワインディングロードまで幅広い用途で力強い走りを実現しています。

XR230 モタードは、オンロードモデルのエントリー層はもとより、幅広いモーターサイクルファンに、二輪を操る楽しみを提供できるモデルとしています。



XR230 モタードの前・後輪は、17インチで幅広のアルミ製ホイールにオンロードタイヤを組み合わせ装着しています。フロントには、3.00-17サイズのアルミホイールに、110/70-17サイズのタイヤを装着。リアには、3.50-17サイズのアルミホイールに、130/70-17サイズのタイヤを装着し、オンロードで路面追従性に優れた快適な走りを実現しています。また、リアクションユニットの全長を、XR230に比較して3mm延長するとともに、XR230 モタード専用のセッティングを施しています。

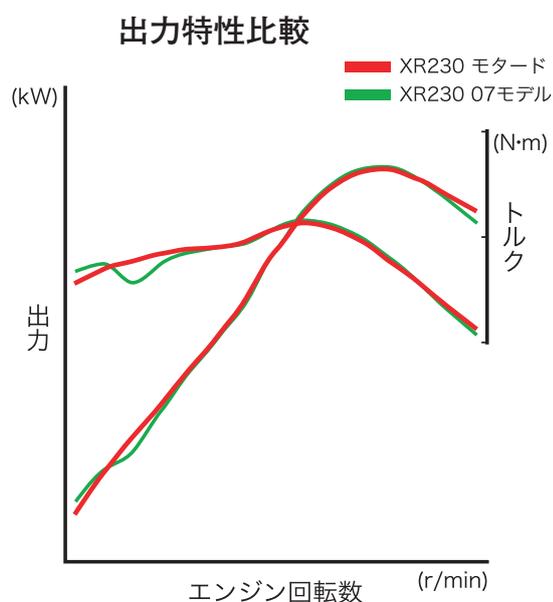
このような足回りの変更によって、XR230に比べフロント荷重を高め、モタードモデルとして最適な車体ディメンションを実現しています。コンパクトな車体は、足着き性に優れた800mmのシート高によって、優れた取り回しと安心感を高めています。ドリブンスプロケットの丁数は、XR230に比べ1丁低い38Tに設定しています。クロスタイプの6速ミッションとあいまって、オンロードでより軽快な走り味としています。また、ワイドタイプのリアタイヤに対応し、専用のチェーンケースを装着しています。

ハンドルは、軽量化と振動吸収性を追求し、英国の「レンサル社製」のアルミ製バーハンドルを採用。XR230に比べ、左右で5mm、計10mm幅を狭めたモタード専用とすることで、軽快なハンドリングと取り回しを実現しています。



軽量でコンパクトな空冷・4ストローク・OHC・223cc単気筒エンジンは、環境性能と市街地やツーリング走行で力強い走りを両立させるために、XR230と同様にキャブレターのセッティングを変更し、より適正な混合気の供給を可能としています。また、排気ガスを浄化する触媒装置(キャタライザー)を、エキゾーストパイプとマフラーにそれぞれ内蔵し、従来からの二次空気導入装置(エキゾースト・エアインジェクションシステム)も併せて採用することで、平成18年国内二輪車排出ガス規制に適合させています。

燃費は、タイヤの路面伝達効率の差により、XR230に比較し3.0km/ℓ高い46.0km/ℓ(60km/h定地走行テスト値)を達成しています。また、XR230と同様に点火時期の見直しと排気系の最適化を図ることで、より低・中速域で力強い出力特性を実現しています。



## スタイリング

**XR230  
MOTOR**

XR230 モタードは、燃料タンクのシルバーとシートトップのシルバーと連続性を持たせてシャープな印象にし、シュラウドには専用のストライプデザインを採用いたしました。また、フレームにはマットバリスティックブラックメタリックを採用、前後ホイールはブラックアルマイト、フロントフォークのアウトチューブをブラックで引き締め、ボディカラーとのコントラストにより、スポーティーで躍動感あふれたグラフィックを実現しています。

カラーバリエーションは、XR230 モタードの精悍なスタイリングを際立たせる、プラズマイエロー、ロスホワイト、ブラックの3色をラインアップしています。

車体色：プラズマイエロー



車体色：ロスホワイト



車体色：ブラック



## 主要諸元



通称名		XR230 モタード
車名・型式		ホンダ・JBK-MD36
全長×全幅×全高 (m)		2.015×0.815×1.080
軸距 (m)		1.340
最低地上高 (m)		0.235
シート高 (m)		0.800
車両重量 (kg)		125
乗車定員 (人)		2
燃料消費率 (km/ℓ)		46.0 (60km/h定地走行テスト値)
最小回転半径 (m)		2.0
エンジン型式		MD33E
エンジン種類		空冷4ストロークOHC 単気筒
総排気量 (cm <sup>3</sup> )		223
内径×行程 (mm)		65.5×66.2
圧縮比		9.0
最高出力 (kW[PS]/rpm)		13[18]/7,500
最大トルク (N・m[kg・m]/rpm)		18[1.8]/5,500
キャブレター型式		VE3AF
始動方式		セルフ式
点火装置形式		CDI式/バッテリー点火
潤滑方式		圧送飛沫併用式
燃料タンク容量 (ℓ)		8.7
クラッチ形式		湿式多板コイルスプリング
変速機形式		常時噛合式6段リターン
変速比	1速	3.083
	2速	2.062
	3速	1.450
	4速	1.130
	5速	0.960
	6速	0.814
減速比(1次/2次)		3.090/2.923
キャスト(度)/トレール量(mm)		23°55' / 63
タイヤサイズ	前	110/70-17M/C 54H
	後	130/70-17M/C 62H
ブレーキ形式	前	油圧式ディスク
	後	油圧式ディスク
懸架方式	前	テレスコピック式
	後	スイングアーム式(プロリンク)
フレーム形式		セミダブルクレードル

■道路運送車両法による型式認定申請書数値(シート高は当社測定値) ■製造事業者/本田技研工業株式会社